

HIO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949代
(編集) 教区基推委広報部

1995.12.96号



11月17日の追悼法要の様子

終戦50年

千人「慚愧から行動へ」

2日間 新別院で総追悼法要

兵庫教区では本願寺神戸別院の完成を待って十一月十六日と十七日の二日間にわたって、終戦五十年、兵庫教区全戦没者総追悼法要を神戸別院一階ホールにて厳修した。

この法要の総合テーマは『慚愧から行動へ』サブテーマを「平和を願う念仏者の集い」として、過去の過ちへの深い自省と、その重みを背負って、念仏者が平和を実現のためにどう行動するか。念々称名・常備悔しつづ、平和への行動を常行大悲の営みといたたく機縁となればという強い願いをもって勤められた。

午後一時よりホールにBGMが流され、法要実行委員会副委員長の久堀弘義師より法要の意義と趣旨説明がなされ、教区内コーラスグループにより真宗宗歌を斉唱し、一時三十分より行事鐘が鳴り響き、献灯・献華のあと、楽人が先導し、続いて諸僧入堂、導師入堂

着座で正信偈をお勤めした。導師の土基教務所長は表白で「本年一月、当地を襲った未曾有の大震災でもいのちの尊さ痛感させられた。そのいのちを奪いあった第二次世界大戦が終わりに、わが国が敗戦を迎えてから、はや五十年。過去の反省の上に、すべての犠牲者が願われた世界の平和と御同朋の社会の実現を願う、追悼法要を平和を願う念仏者のつどいとして厳修します」と述べた。

出動僧侶・参拝者ともに偶数組が十六日、奇数組が十七日であった。代表焼香のあと讃歌「千万の」「みひかりの」をコーラス、回向に続いて讃歌「みほとけにいだかれて」独唱(赤松義光師)讃歌「恩徳讃」(旧)をコーラスで斉唱し、樂中に導師諸僧が退出した。その後、記念法話(十六日)窪田正憲師、十七日山崎一朗師)があり、土基教務所長よりあいさつがあり、最後に全員で「恩徳讃(新)を斉唱して法要を終了した。二日間約千人の門信徒が参拝した。



蓮如上人の五百回遠忌法要を迎えるにあたり、上人のご功績を讃

「流れる水は濁らず」とか、蓮師去ること五百年、流れもいつか安泰の淀みとなり愁嘆の声のみ多く生き生きとした息吹が感じられない。現今一人一人が蓮師のおこころに立ちかえって、なにを、どのように変革すべきか、「イノベーション」の合言葉の下に総意を結集し実践すべきである。(森田 智)

日	時間	内容	場所
13日(水)	10時半	門徒総代会評議員会	
14日(火)	1時半	永代経開闢法要	
15日(水)~16日(木)	1時半	別院常例法座	富永真哉師
16日(木)		少年連盟ともしび映画大会	神戸西組佛心寺
18日(月)	10時半	ピハラー兵庫会員・賛助会員研修会	
19日(火)		教務所長会	本山
20日(水)	1時	門推役員会	
21日(木)	1時半	布教団役員会	
	5時	青年僧侶の会役員会	
22日(金)~23日(土)		スカウトクラブ仏教修得講習会	別院
23日(土)	1時半	スカウトクラブ第26回土の会	
25日(月)	1時	組長会・祝賀会	
28日(木)		別院・教務所御用納め	
31日(日)	7時	被災地除夜会	
1月1日(月)		元旦会	
8日(月)		別院・教務所御用始め	
14日(日)	1時半	別院永代経開闢法要	
15日(月)~16日(火)	1時半	別院常例法座	堀川宣裕師
20日(土)		阪神・淡路大震災一周忌法要	別院

総務に豊原大成師

第二百四十三回定期宗会最終日の十月三十日、松村了昌総務長が辞職し、翌日総長選挙となり、松村総務長が三選、十一月一日新たに五人の総務が誕生し、兵庫教区選出宗会議員の豊原大成師(阪神西組西福寺)が三回目の総務に就任した。

豊原総務の所管は浄土真宗教学研究所、基幹運動本部事務局(基幹運動本部)、宗務事務局(法要庶務部、法要法式部、法要参拝部)

仏婦

「ダナー手帳」を発行

教区仏婦連盟(木村久子委員長)では今年も「ダナー手帳」を作製しました。内容は法話を十二話、ダナー活動事例紹介。九十六年カレンダー(日程表)。新書版で六十四ページ(カバ付)で二冊四百円(送料実費)。お申込みは各組委員、または、教務所仏婦連盟事務局(担当尾井)まで。

1月28日に 第21回仏壮大会 ひとり芝居を公演

教区仏壯連盟(出田求理事長)では例年ブロック別に会場をかえて大会を開催しているが、今年度は新しく

ビハラー10期生 参加しませんか

本山(社会部)では、ビハラー活動をより推進するために、実践活動者の養成を目的として、ビハラー実践活動研究会第十期生を募集します。

布教使をめざそう

このたび、教区布教団におきまして「布教使育成研修会」を企画開催することになりました。現在布教使をめざしておられる方や今後にと考えておられる方には是非とも参加して頂きたくご案内申し上げます。共に布教伝道の意味を考え、実践させて頂きたいと思っております。

くった別院のホールにて一月二十八日に開催する。今回は午後から式典を一時、引き続き劇団関西芸術座創立メンバーで舞台・映画・テレビなどでもお馴染みの新屋英子さんのひとり芝居「わたしの蓮如さま」を公演する。

定員は五百人(定員になり次第締切り)。申込みは各組の理事を通して募集。詳細についてはお問い合わせは各組理事、または仏壯連盟事務局(担当尾井)まで。

尚、11月30日現在義援金の総額九億三千二百九十九万九千七百七十九円を寄せ、十一月九日現在六億六千四百七十五万五千二百八十八円を執行しております。差引二億余円については復興活動費、対応関係費、予備費として長期的な視野のもと有効に執行させて頂いております。

▽佐用組光福寺 一万二千元
▽京都市山田徹念七万円
▽本願寺大牟田別院 二万三千元
▽大阪教区緊急対策本部 十三万四千八百七十二円
▽網干組四万五千九百六十円
▽沖繩浦添本願寺 十万円
▽沖繩開教地杉本笑美子 一万円
▽大見末子 二千元
▽大分教区宇佐組寺族婦人会 十四万五千元
▽阪神南組西光寺 九万円
▽網干組 五万六千七百七十円

建設懇志進納総額
二十億四千七百五十六万六千二百七十四円(89%)
(95年11月30日現在)

阪神・淡路大震災 義援金

支援バザール大盛況

滋賀からはお米3トン

十一月二十七日と二十八日の二日間、阪神・淡路大震災災害対策現地本部では被災者の支援活動の一環として「全国名産、ふれあいバザール」を神戸別院前庭にて開催し、大盛況のうち無事終了した。

この催しは全国に物資の提供を呼びかけ、教区・個人と続々と宅急便で送られたものや、前日に車で物資を搬入したりと、沢山の支援物資が届けられた。

先着百人にはお米をプレゼント。また、たこ焼き、甘酒、にくまんなどの屋台も出て場を盛り上げた。時間が午前十一時から二時までの三時間という短い時間であったが、バザールにいられた人は両手一杯に袋をさげており、あっという間に用意した品物がなくなった。特に北海道からの新巻鮭は飛ぶように売れてしまっただようで、二日目に来た人は「今日は鮭はないの」という声も聞かれた。また、二日目にもなると、一時間も前から行列ができてしまし、別院報恩講にお参りの方が間違って並んでしまったというハプニングもあった。

滋賀教区からはお米一軒一握運動を展開し、なんと三トンのお米を運んでくれた。

その他、食料品から日用品まで多種多様なものを提供いただいた。

当日ボランティアに参加していただいた団体は北海道教区、富山教区、東京ビハラ、東青僧、滋賀教区仏壇連盟、六甲庵、ボランティア大阪、大阪教区仏壇連盟、大阪遊ゆうクラブ、群萌会、鹿児島教区、桜商會、公詢社、兵庫教区仏壇連盟、ビハラ兵庫でした。

なお、二日間の収益は百五十万六千四百八十八円、復興支援活動団体の被災者を支援するための資金にあてられる。

ご協力をいただきました皆様方、誠にありがとうございました。



別院前庭でのバザー

大震災請願書を採択

臨時教区会で緊急動議 財務・法規議案も可決

平成七年度兵庫教区臨時教区会が十一月二十二日、神戸別院で開催され、平成六年度兵庫教区一般会計歳計決算を含む九議案の財務議案と本願寺神戸別院・兵庫教区教化センター完成記念法要準備委員会規程の法議案を審議し可決された。

そのあと、菅義成宗会議員が入場し、阪神・淡路大震災救援復興について本山海いいろいろとお願ひしているが、教区としての後押しに依頼。差別発言に関する報告事項などが述べられた。

これを受けて藤田時男議員より緊急動議として阪神・淡路大震災にかかる請願書の提案がなされ、上程された文書の検討に入り全会一致で採択された。

請願事項は次の通り。

一、阪神・淡路大震災救援復興貸付金関係について(1)全壊・半壊寺院に宗派より特別助成金交付願(2)阪神・淡路大震災救援復興貸付額の増額要望(3)阪神・淡路大震災救援復興貸付期間の緩和処置(4)貸付書式の簡素化(責役・総代の保証人はずす)②貸付期間の大幅延期(二十年または三十年の延期)二、教化センターとしての本願寺神戸別院改築に三億円の特別助成金の交付願というものである。

可決された一般会計の歳入合計は一億七千四百四十五万六千一百一十円。歳出合計は八千四百八十四万四千六百七十九円で差引余剰は一千六百八十四万四千六百七十九円である。歳入の増は本山からの諸懇志教区教化助成金の増額によるものが大きく、歳出については阪神・淡路大震災による影響で二カ月平常業務を停止し、救援活動にあたったために減額となった。

八号議案は平成七年度の一般会計歳計予算追加更正で本山より災害特別助成金が一千七十五万円、組特別

助成金が五百八十六万九百九十八円などの助成金により増額となり、借入金の設定の必要がなくなったためのも更正である。

九号議案の平成七年度特別会計兵庫教区災害対策費歳計予算追加更正についても本山より五百万円の助成によって更正される。

なお、当日参考資料として①本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立総合計画収支状況表②阪神・淡路大震災兵庫教区義援金収支現況表と義援金収支予算(方針)③平成六年度神戸別院一般会計歳計決算表④教区常備会予備委員名簿が提出された。

その他、議員からの意見として教区会開催の時期、出席議員数、義援金の予備費についてなど各種の意見が出された。



別院ホールでの教区会

神戸市長から感謝状

HO日誌

◆11月1日 教区相談員連絡協議会が本山で◆2日 社推協協議会並びに研修会を別院で。講師はビハラ岐阜代表世話人小川真理子師。講題は「震災における救援活動にかかわって」◆4日 第一土曜仏教講座を別院で。講師は渡辺梯爾師(三重大学人文学部教授)◆5日 神戸湊組光明寺本堂新築落成法要に土基事務所長が本山からの祝辞伝達◆姫路中組真宗寺住職継職奉告、本堂新築落成法要に上原賛事が本山からの祝辞伝達◆6日 7日 管理職研修会が本山で。土基事務所長が出席◆7日 別院仏壇定例法座。講師は小原唯信師(網干組専念寺)午前中は報恩講のお斎のために食堂の厨房を實際に使用して調理◆ビハラ兵庫役員会を別院で◆8日 布教団若手役員会を別院で◆終戦五十年、兵庫教区全戦没者総追悼法要

の法要部会を別院で◆教区ビハラ代表者連絡会幹事会が本山で◆青年僧侶の役員会を別院で◆9日 教区災害対策常任委員会を別院で。午後から教区災害対策委員会◆門推幹事を別院で◆本願寺派関係学校保護者会連合会総会が研修ホールで◆10日 北摂組連如上人五百回遠忌法要ご消息披露を極楽寺で◆11日 揖尾西組超念寺山門落成、住職継職奉告法要に土基事務所長が本山からの祝辞伝達◆12日 中央仏教学院通信教育同窓会兵庫支部総会が研修ホールで◆出石組真寛寺が別院に団体参拝◆13日 建設推進常任委員会を別院で◆神戸東組光頭寺が起工式◆14日 常備会を別院で◆本願寺神戸別院水代経開關法要を別院で◆保育連盟理事會を別院で◆15日 別院常例法座。講師は廣岡正義師(播磨東組安楽寺)◆終戦五十年法要準備會を別院で◆16日 スカウトクラブ役員会を別院で◆仏社連盟大会実行委員会を別院で◆16日 17日 終戦五十年、兵庫教区全戦没者総追



感謝状を受けとる土基輪番

窓会兵庫支部のり会が別院で◆27日 28日 全国名産ふれあいバザールを別院前庭で(二面に別記)◆29日 29日 別院報恩講。講師は山田尚見師(東海教区鈴鹿組存仁寺)別院仏壇の方々が泊まり込んでお手伝い。「建物が新しくなって初めての報恩講で手さぐり状態でした。お気づきの点がありましたらご指導下さい」と別院担当職員。大勢の方々のご協力により賑やかにとお勤めすることができました。皆様ありがとうございました。なお、次の方々にご出動いただきました。

(敬称略) 阪神東組来恩寺齋藤蓮水 覚円寺長澤弘之 阪神西組万福寺岩井宏守 萬照寺森本信行 阪神北組光圓寺杉本光俊 神戸中組泉隆寺松阪隆昌 照善寺高橋徹俊 正應寺関空童 徳照寺廣岡行信 徳照寺廣岡信誠 應誓寺杉岡行信 神戸湊組尊光寺前川隆司 光明寺田中法鏡 高松寺谷川真厚 佛心寺池谷正信 徳善寺岡崎満利雄 高松寺谷川憲正 北摂組明樂寺朝倉智亮 廣宣寺門中

浄光 照願寺藤岡義顕 正光寺高崎長英 寶泉寺平原充信 神明組光明寺松本重信 淡路組徳寺殿見照 播磨東組妙覚寺森田智 播磨中組安樂寺杉本廣之 加古川組照徳寺木村正則 南宗寺月崎昭見 姫路東組正覚寺藤谷嘉伸 姫路南組正福寺清流祐昭 網干組専念寺小原唯信 揖尾東組善導寺飯蓋文秋 赤穂南組宝専寺西院村上順昭 佐用組軒築俊昭 多紀組専福寺松島法城 専福寺足立定夫 水上西組正覚寺藤長正博 雅楽 阪神東組西正寺中平 覚了 阪神南組弘誓寺園部宗純 神戸湊組尊光寺前川隆哲 善照寺建部典夫 浄師が出席。

栄寺小宅匡 神戸西組浄行寺中村信之 浄行寺中村秀之 顕信寺大西正雄 播磨中組安樂寺杉本教之 揖尾東組源徳寺和田宏之 西法寺堀見洋 揖尾西組元誓寺堀川晃尚 六栗組西光寺村上義恭 西光寺村上義通 京都教区弓場成典 大阪教区味府浩子 吉中寛子 会役者 神戸西組順正寺山下清之 神明組安養寺光森龍樹。また団参は次の団体の方でした。 阪神西組万徳寺 神戸東組妙善寺 神戸東組圓光寺 神明組善福寺 仏壇 万宣寺 正徳寺 仏壇 淡路組萬行寺 佛壇 仏壇 播磨東組妙覚寺 北摂組正光寺 仏壇 加古川組仏壇連盟 加古川組善照寺 佛壇 水上東組仏壇連盟 揖尾西組光遍寺 赤穂北組西光寺 30日 教区会で議決された阪神・淡路大震災にかかわる請願書をもって土基事務所長をはじめ教区会議員、常備会員、宗会議員、組長代表が総局に陳情のため本山へ◆30日 12月1日 中央推進委員会第二回定期総会が本山で。山崎一朗師が出席。



別院報恩講の様子

賑々しく別院報恩講